

エコ・フィールドの雪景色 ～秋吉台では19cmの積雪を観測～

1月10日から4日間、雪の日が続きました。秋吉台では19cmの積雪が観測されました。エコ・フィールドでも15cmほど積もって真っ白になりました。これでは当分の間、訪れる人はいないだろうと思っていましたが、小さいお子さんを連れた家族が数家族訪れました。大きな雪ダルマを作ったり、ソリで滑って遊んだり、かまくらまで作っていました。子供たちは雪まみれになって元気いっぱいです。このような光景を見ることができるのも「雪のお蔭だ」と思うと、なんだか明るい気分になります。



キョウリュウヒョウタン(恐竜瓢箪) ～ 自然に曲ってしまうのです ～

昨春から育てたキョウリュウヒョウタンを紹介します。アメリカで作出されたそうです。キョウリュウカボチャともいうそうですが、花を見るとヒョウタンに似ています。棚を作って育てると重みで細い首の部分がまっすぐに伸びてしまって「変わったマラカス」のようです。地に這わせて育てると首の部分は、自然に曲がって大きくなります。この方が「ネス湖のネッシー」の雰囲気が出て面白いかと思います。



観察会「冬眠中のコウモリを見る」(1月14日) 岩の隙間にテングコウモリ発見

まだ雪が残った田んぼの横を通って三角田洞へ向かいました。洞窟の中へ入ると、地面にコウモリの糞がたくさんありました。コウモリを探して奥へ奥へと行きましたが、例年になくコウモリが見つかりません。寒すぎて違う場所で冬眠しているのでしょうか。それでも小さな岩の隙間にいるテングコウモリを見つけることができました。みんなでそっと観察しました。



観察会「森の昆虫教室・冬」(1月28日) 雪の中でも元気いっぱい、目が真剣

2度目の大雪が5日過ぎても消えるどころか、観察会当日も降雪です。そんな中、森の昆虫教室・冬を開催しました。エコ・フィールドの周囲で、いろんな昆虫の越冬中のようなすが見られました。成虫は知っているけど、卵などは初めてという参加者の感想もありました。屋内では、ナミテントウが天井の隅にかたまって越冬中です。今年は寒さが厳しいせいかわ、サッシの隙間にはいませんでした。観察会の後半では、クワガタムシの幼虫が家族ごとにプレゼントされ、子供たちは大喜びです。オスカメスカの質問に、角田先生は、「育ててみてのお楽しみです」。



秋吉台エコ・ミュージアムを空から眺める ～ ドローンで空撮 ～

最近、ドローンで空撮することが流行っているようです。この日も、訪れた人が大正洞駐車場で操作していました。練習飛行とのことでしたが、当館の上空からも撮影してもらいました。いつもとは違った景色が見えます。普段よく見慣れているものでも、見方を少し変えると意外な発見があるかもしれません。



2月の行事

2月11日(日) カエルの観察会

「ニホンヒキガエル、ヤマアカガエルの観察とオタマジャクシ・卵のレスキュー大作戦」